

## 目的 & 趣旨

日本社会は少子高齢化が進む中、東日本大震災、福島原発事故被災など重大な危機に遭遇し、益々将来予測が困難な時代に直面している。2012年8月の中教審答申においても「生涯にわたって学び続けていく力、主体的に考える力」の重要性がまず第一に指摘されている。本校の教職員アンケート（平成24年度PBL・総合教育センター実施）においても、学生の主体的な学びの重要性については異論はない。しかし“それをどのような実践していくか”については現状では各教員の個人的な工夫に委ねられている。

一方欧米の多くの大学では、既に半世紀前の1960年後半の世界的な学生運動の中で、学生の強い意思によって従来の受動的な学びから、主体的な学びへの転換が進められた。その一つがPBLであり、世界的にはカナダのMcMaster大学医学部など医学系での取組が早い。

デンマークではほぼ同時期に独自にProject Based Learningとして発展し、Aalborg大学はPBLによるカリキュラムの大学として1974年に設立された。現在では工学教育の取組として、世界で最先端をいく工学系のPBLとして定評がある。

そこで、今回は、Aalborg大学からPBLの専門家であるAnette Kolmos先生を招聘して、デンマークにおけるPBLの歴史、Aalborg大学設立の背景、Project Based Learningの核心である“The Aalborg PBL model”を紹介していただくことにより、本校教職員はもとより九州各高専教職員の工学教育におけるPBLの基本的・本質的な理解を得て、学生の主体的な学びを育むための具体的な方策の手がかりを得ることを目的とする。



熊本高等専門学校 PBL・総合教育センター、教育改善プロジェクトワーキンググループ、教務委員会、建築社会デザイン工学科

共同開催

熊本高専



# 学生の主体的な学びを目指して

## Aalborg大学のProblem & Project Based Learning に学ぶ

- 熊本高専 第6回 PBL 利用教育に関する研修会 -

日時：平成25年8月19日（月）13時～16時50分

会場：熊本高専八代キャンパス 1階合同講義室

### プログラム：

- (1) 開会あいさつ
- (2) 趣旨説明
- (3) 本校のカリキュラム紹介とAalborgカリキュラムとの簡単な比較
- (4) 基調講演

テーマ：Aalborg大学の工学教育におけるAalborg PBL Model

- ① デンマークにおけるPBLの歴史
- ② Aalborg PBL Modelとは？
- ③ なぜPBLか？なぜプロジェクトか？
- ④ PBLメリット/PBL教育の成果

講師：Aalborg大学 Anette Kolmos先生

- (5) 質疑
- (6) 総括

参加は無料です  
どなたでも参加できますが、事前にお申し込みください

問い合わせ：熊本高専共通教育科（上土井）

電話：0965-53-1246

E-Mail：jyodoi@kumamoto-nct.ac.jp

高

本

専



Prof. Anette Kolmos

